

新型コロナウイルス感染症に対する市の対応について

令和2年8月1日
伊丹市長 藤原保幸

近畿地方では、記録上過去3番目に遅い梅雨明け宣言がされた7月31日にも、新型コロナウイルスに関する情報が多数入ってきました。

東京都では感染者が初めて400人を超え、過去最多の463人にのぼることです。また大阪府では216人の感染が確認されました。

兵庫県におきましても、7月31日に過去最多の62人の感染者が確認され、8月1日には、この1週間で新規陽性患者数が40人/日以上となったことから、医療体制を「感染拡大期1」から、最も警戒が必要とされる区分「感染拡大期2」に移行し、対応する病床数を500床から650床程度に引き上げました。

特に最近、東京や大阪、名古屋等感染が再拡大している地域において接待を伴う飲食店や酒類の提供を行う飲食店で感染した方が、帰宅した家族間において感染が拡大しているとの見方もあります。市民の皆さんには、マスク着用や3密の回避、身体的距離の確保等「新しい生活様式」への取り組みとともに、大人数での会食や飲み会を避け、検温や換気、人数制限、連絡先登録等がなされていない施設への出入りを自粛していただくよう、改めてお願いいたします。

また、発熱やだるさ等の症状がある場合は外出を控えていただきますこと、特にご高齢や基礎疾患をお持ちの方につきましては、不要不急の外出の自粛をお願いいたします。

市といたしましても、今後とも情報提供をはじめ、必要な対策を進めてまいりますので、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしく申し上げます。